

PRESS RELEASE

パラアスリート杉浦佳子選手（総合メディカル社員）
「杭州アジアパラ競技大会」にて銀・銅メダル獲得！

当社グループの総合メディカル株式会社社員のパラアスリート・杉浦佳子選手が、2023年10月22日～28日に中国で開催された「杭州アジアパラ競技大会」の5種目に出場し、銀メダルと2つの銅メダルを獲得。個人パシュート（3km）とタイムトライアル（500m）の2種目で大会記録を更新しました。

【大会結果】 ★大会記録更新

	種目（距離）	結果	記録
パラサイクリング	女子 C3(※1) 個人パシュート(※2) (3 km)	銀メダル	4分12秒274★
トラック	女子 C3 タイムトライアル (500m)	銅メダル	39秒995★
	男女混合 C1～5 チームスプリント (※3)	4位入賞	54秒946
パラサイクリング	女子 C3 個人タイムトライアル (13.7 km)	銅メダル	21分34秒11
ロードレース	女子ロードレース (41.4km)	4位入賞	1時間26分09秒

※1 運動機能障害クラス ※2 個人で競う「追い抜き」 ※3 チーム対抗で競うトラック種目



@JPCF

<杉浦佳子選手コメント>

今年は4月に怪我を負い、トレーニング量が減ったためロード強化があまりできませんでした。世界選手権を終えて、少しずつ高強度トレーニングを増やしていくため、体力向上を目的とし、このアジアパラ競技大会では5日間で5競技(8レース)に出場することとしました。ロードレースでは、ライバルでもある王小梅選手の走りを観察することができ、彼女の強みと自分の弱点がよくわかりました。今後、戦略を考え、弱点を改善することでパリでは良い結果を出したいと強く思いました。

この大会では、無事に全競技を完走し、良い経験ができました。パリでは皆様の喜ぶ顔がみられるよう、精進してまいります。

■杉浦佳子選手の歩み

大学卒業後、薬剤師として勤務。2013年にスポーツファーマシストの資格を取得し、薬学的知識を生かしてアスリートのサポートや講演活動に尽力する。

2016年にロードレース大会中に落車し、脳挫傷、外傷性くも膜下出血、頭蓋骨・鎖骨・肋骨・肩甲骨を粉碎骨折、三半規管損傷という重傷を負う。当初、医師からは回復が難しいと診断を受けるも、懸命なりハビリを重ね、2017年、奇跡的にパラサイクリング選手としてレースに復帰。以降2年続けてロードレースの世界選手権で優勝し、2018年に国際自転車競技連合からその年に最も活躍した選手として選ばれる。2021年の東京パラリンピックで、女子個人ロードタイムトライアルと女子個人ロードレースで金メダルを獲得し、パラリンピック選手の中で「日本人最年長金メダリスト」となる。2022年5月に総合メディカル株式会社へ入社。同年のUCIパラサイクリングロードレース世界選手権、女子個人ロードレースにて優勝。2023年8月のUCI自転車世界選手権大会にて2種目で金メダルを獲得、参加した4種目全てでメダルを獲得した。

現在は、2024年開催予定のパリ2024パラリンピック出場の内定決定に向け、日々活動中。

当社グループは、「すべての人々にとってかけがえのない、価値ある企業になる」という考え方のもと、社員一人ひとりが強みや能力を発揮できる職場環境をめざして、総合メディカルに専門部署を設けるなど、障がい者雇用の促進および環境整備に注力しています。

今後とも、総合メディカルグループおよび杉浦佳子選手をどうぞよろしくお願いたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

総合メディカルグループ株式会社 総務部 広報グループ

福岡市中央区大名二丁目9番23号

TEL:092-713-9181 FAX:092-713-0185 E-mail: koho-ir@sogo-medical.co.jp